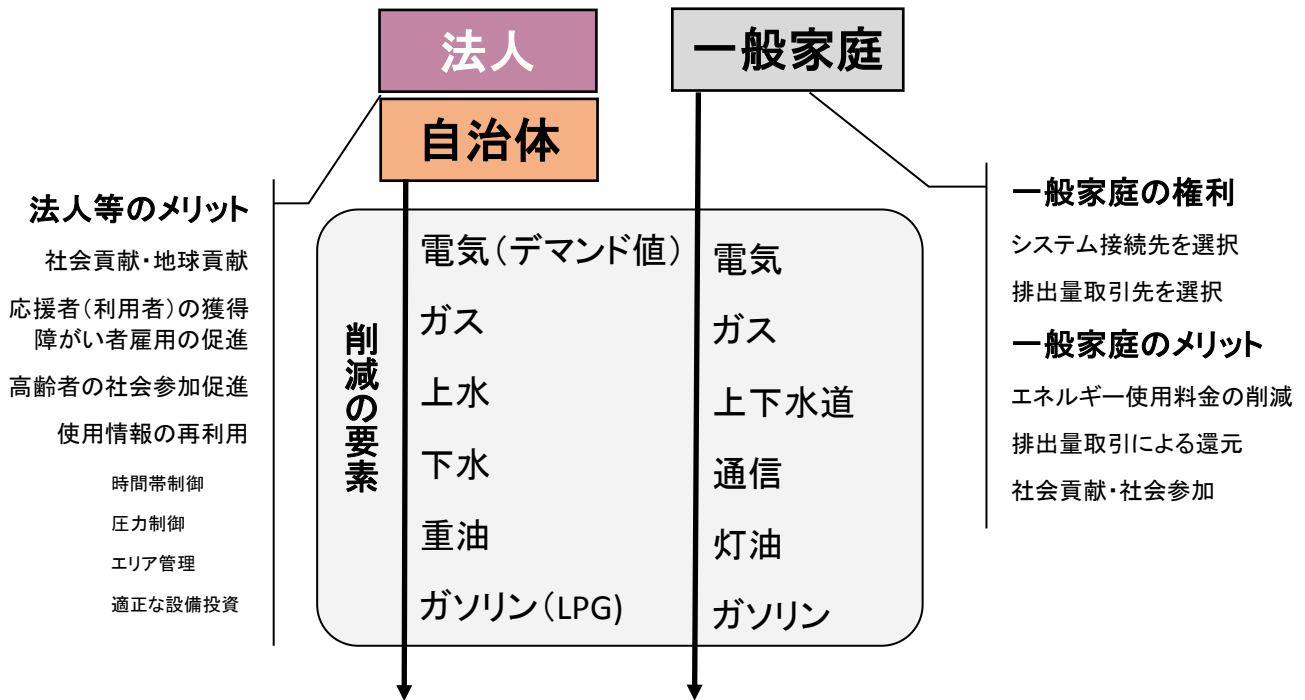


排出量取引システムのメリット



2013年度エネルギー使用量(算定基礎)

2014年度エネルギー使用量(仮基礎)

2015年度CO2削減量(実績)

2016年度CO2削減量(予測)

算定基礎の認証

具象の検証(領収書や電気の家計簿などから対象期間の使用量を確認する)

実績値の確認

具象の検証(領収書や電気の家計簿などから対象期間の使用量を確認する)

センサーとシステムの数値担保

センサーの出力数値が正しいかを抜き取り検査で検証する

算定基礎条件の変更を検証

家族構成増減や電力契約の変更、クリーンエネルギー利用などの変更を検証する

雇用の創出

多くの検証作業が発生することから地域における軽作業が必要となり、高齢者の雇用と社会参加に寄与する。また、レシートやメーターの確認などはパソコン上で完結するため、在宅システムが適用できる。